

「はりまる」目指せ播磨の特産

新品種ジャガイモ開発

神大センター

神戸大の食資源教育

標登録もされた。農家

あり、生産活動を通し

研究センター(加西市)

での試験栽培も始ま

た研究を行う。タマネ

は、ジャガイモの新品

種「はりまる」をつく

ぎやキャベツ、民間企

種「はりまる」をつく

る、播磨地域での普及

業と連携した日本酒な

った。同大が農作物の

センターは神戸大大

ど大学ブランド商品も

新品種を育成したのは

学院農学研究科の付属

手掛けている。

初めてで、このほど商

機関。約40社の農場が

日本で人気のジャガ

イモの品種はメークイ

ンと男爵イモだが、「は

りまる」はメークイン

と同様に味が良く、煮

崩れしにくい。またメ

ークインや男爵イモに

比べて病害虫に強く、

変形や緑化がしにくい

という。

神戸大は交配や食味

の検定などを経て20



神戸大がつくったジャガイモ「はりまる」
神戸市灘区、神戸大

12年、農林水産省に
品種登録を出願。今年
6月には商標登録され
た。センターでの栽培
に加え、今年は姫路市
と市川町の農家数戸で
試験栽培を開始。将来
は販路を確保し、直売
所での販売や播磨地域
の飲食店での利用を目
指すという。

同センターは「地域
の名産に育てば、地元
の農家や飲食店にとつ
ても利点は大きく、地
域貢献につながる」と
している。

(紺野大樹)